

道民の願いを届ける 自民党道政を変える 日本共産党的議席が必要です

道政・政策委員長
日本共産党

森つねと

と力あわせて北海道を変えよう！



パや勇氣
しさの力さ

f t e 森つねと 検索

JCP サポーター制度
HPからどなたでも登録できます



JCP
Japanese
Communist
Party
Supporter

プロフィール

■1978年札幌市白石区生まれ（41歳）。中央区在住。北海道東海大学（国際文化学部）卒。学童保育指導員、党北海道委員会専從職員、「しんぶん赤旗」記者を歴任。2012年衆院道3区候補、2013年・2016年参院北海道選挙区候補、2015年道議候補（白石区）
■モットー／『信じて、待つ』 ■好きなこと／子どもと遊ぶこと、三角山を眺めること ■好きな歌／miwa『あなたがここにいて抱きしめることができるなら』 ■資格／英検準2級、少林寺拳法2級 ■家族／妻と子

みなさんと実現します！安心してくらせる道政

災害に強い札幌、北海道へ

- ブラックアウトの教訓生かし、泊原発は再稼働せず廃炉へ
- 電力は地域分散型の再生可能エネルギー開発で
- 住宅再建の支援強め、公共事業はインフラ施設の長寿命化と防災拠点の耐震化を

暮らしに冷たい今の道政→安心してくらせる道政に

- 子どもの医療費は、中学校卒業まで無料に
- 未来を担う学生に、返済なしの給付型奨学金を支給

札幌市の都心アクセス道路は撤回

北海道開発局と自公道政が札幌市で進めようとしている、たった4kmに1000億円（国、道、札幌市が負担）もかかる都心アクセス道路はやめさせます。

国保料引き下げます

国と都道府県による1兆円の公費負担で「協会けんぽ」並みに全国平均で約3割、国保料を引き下げる運動を全国で起こして実現します。

現在

道政・政策委員長として奔走中

昨年8月の対道交渉では、北海道公立大学法人・札幌医科大学が非常勤職員の雇止めをしている問題を取り上げ、道として「無期転換ルール」（改正労働契約法）の趣旨に沿って指導すべきだと厳しく迫りました。



生き方は“不屈” —森つねとの歩んだ道—



困っている人を見過ごせない子だった

小学生のとき、いじめられていた同級生に「一人じゃないよ」とのメッセージを伝えないと、放課後、一緒に勉強したこともありました。中学時代は演劇部に所属し、高校生まで社会派の劇団でも活動。「反原発」の芝居で主人公も演じました。大学時代は自治組織や青年運動に参加するなかで、「国民を苦しめる自民党政治を変えたい」と18歳で日本共産党に入党。

大企業に立ち向う「しんぶん赤旗」記者として

記者として全道各地を奔走。社会で傷ついた若者の自立支援組織を取材するなど、声を上げられない人たちに寄り添い、代弁する記事を書き続けました。

北電泊原発3号機のブルサーマル導入をめぐる“やらせ”問題で、「私は道民の知る権利に応える責務がある」と、本店裏玄関で粘りの取材交渉。翌日のトップ記事「北電“やらせ”認める」につながりました。



「赤旗」記者として

身を削って“市民と野党の共闘”を守り抜き、自民党候補を破る——立憲民主党の候補者の勝利に貢献



2017年衆院選、道1区の予定候補として「本気の共闘で安倍政権を倒そう」と訴え続けました。

希望の党の誕生と民進党の合流という野党共闘の“非常事態”でも諦めず、立候補を辞退して野党統一候補となった立憲民主党の道下大樹さんを応援、勝利に貢献しました。

◀2017年 共闘実現直後の集会で

「生きていることは、当たり前ではない」 超低体重児を育てるパパの思い

3歳になる長男は早産のため658gで出生。手のひらに乗るような息子に触れ、「絶対に死ぬなよ」と3ヵ月以上、NICU（新生児集中治療室）で見守り続けました。「生きていることは当たり前ではない。だからこそ、一人ひとりの命と尊厳が守られる社会をつくりたい」。小さな命と向き合うパパの搖るがぬ思いです。



生後17日、小さな息子が母の指を握る



3歳に成長した息子と

森つねとさんに期待します

鈴木 圭一 青年後援会

震災・ブラックアウトから数ヶ月、私には未だに忘れない経験です。その時、役に立ったのがSNSでした。近くの公園で水がくめます、札幌市のサイトで避難所が分かります等、様々な情報が得られました。森さんは常に信憑性のある情報を発信して下さり、誤情報に惑わされることなくとても安心しました。札幌の市民のために積極的に動かれている森さんに、是非とも僕らの声を議会に届けて欲しい。

宮内 史織 民青同盟北海道委員会委員長

森つねとさんは、民青のOB、現在党青年学生部として援助いただき、民青の高校生や青年労働者からの社会や政治への疑問に答え、学校生活や仕事の悩み、大変さを親身に受け止めてくれます。高校生や専門学校生、働く青年の想いを親身に聴いてくれる森つねとさんを道政に送りたい。

平澤 茂 苗穂第1町内会会長

町内住民のなかも高齢化がすすみ、町内会も気配り、励まし合っています。私たちの暮らし、環境を守るのは政治の役割です。弱者に冷たい道政を変えたいという願いを森つねとさんに託したい。

棟方ひとみ 中部業者後援会

いつも穏やかな笑顔で、姿勢が良い森つねとさん。訴えを聞くと、とてもためになる流暢な話し方が印象的で、好感を持てます。

台風や地震の対応でも、今の道政は私たちに冷たいです。

森つねとさんを道議会に送り、あったか道政を取り戻しましょう。

とめよう安倍暴走！改憲・消費税10%ストップ！日本共産党を伸ばして下さい

市民と野党で
力づくします